祝百歳！おめでとうございます

１月１０日（月）デイホームえん利用者小幡信子さん百歳のお祝いの会を行いました。グループホームえん入居者の方々も全員参加され、娘さん２人も駆けつけてくださいました。

小島代表が同じ年に生まれた人を調べたら、水木しげるさん、山下きよしさん、そして去年亡くなられた瀬戸内寂聴さん。それからあのサザエさんも１９２２年１１月２２日生まれだそうです。

「今日は成人式ですが、その５倍を生きて、戦争中にビルマに看護師として派遣されるという過酷な日々があり、ご苦労されたことと思います」とあいさつにあったように、私たちには想像もつかない前半生だったことでしょう。

ご本人への質問コーナーで「看護師の道を選ばれたのは？」と伺うと、「自分で決めた！世の中が（戦争で）大変なことになっていたので」と力強く答えて下さいました。

総理大臣からの表彰状を手渡し、男性利用者が花束を贈呈し、最後に「ふれー、ふれー、小幡さん！」と応援団スタイルでエールを送り、あっという間に楽しい会が終わりました。

（デイホームえん／吉村桂子）